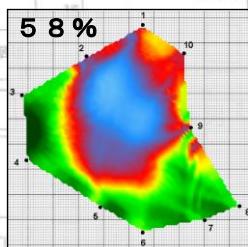
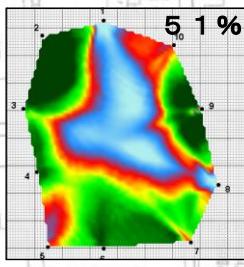
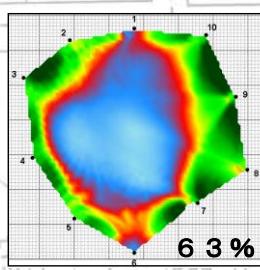
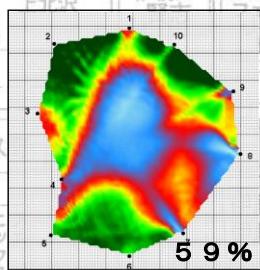
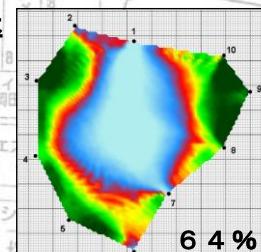


## % : 傷朽・空洞率



胴巻きによる状況を見守る

電線に当たっている枝を伐採

支柱を撤去

シンドイアケボノ

47X

46

45

44

1

2

43

42

41

40

39

38

37

36

35

34

33

32

31

30

29

28

27

26

25

24

23

22

21

20

19

18

17

16

15

14

13

12

11

10

09

08

07

06

05

04

03

02

01

00

09

08

07

06

05

04

03

02

01

00

09

08

07

06

05

04

03

02

01

00

09

08

07

06

05

04

03

02

01

00

09

08

07

06

05

04

03

02

01

00

09

08

07

06

05

04

03

02

01

00

09

08

07

06

05

04

03

02

01

00

09

08

07

06

05

04

03

02

01

00

09

08

07

06

05

04

03

02

01

00

09

08

07

06

05

04

03

02

01

00

09

08

07

06

05

04

03

02

01

00

09

08

07

06

05

04

03

02

01

00

09

08

07

06

05

04

03

02

01

00

09

08

07

06

05

04

03

02

01

00

09

08

07

06

05

04

03

02

01

00

09

08

07

06

05

04

03

02

01

00

09

08

07

06

05

04

03

02

01

00

09

08

07

06

05

04

03

02

01

00

09

08

07

06

05

04

03

02

01

00

09

08

07

06

05

04

03

02

01

00

09

08

07

06

05

04

03

02

01

00

09

08

07

06

05

04

03

02

01

00

09

08

07

06

05

04

03

02

01

00

09

08

07

06

05

04

03

02

01

00

09

08

07

06

樹木番号	区設定コード	石井樹木医判定 [A → C] (良)→(悪)	対策	観察結果
AB e 1	1	B		・歩道側（東側）の根が無い。・倒木の危険はある。・Cランクに近い。 ・上部は元気でも、下部は弱っている（コブ病がある）。
AB e 2	2	A		・30年未満の桜である。・風の影響で多少ねじれはあるが、良好。
AB w 1	50	B		・昨年枝を落とし軽くした。 ・枝の股の部分にシグ（マツバラン）が出ている。 ・しっかりした木部が幹に3方向以上あるので、傾木の危険は少ない。 ・根元にはキノコがある。
AB w 2	49	B		・昨年枝を落とし軽くした。・風の影響で幹がねじれている。
AB w 3	48	B		・昨年枝を落とし軽くした。・車の衝突跡があるが、全体的に生命力がある。
AB w 4	47	***		・2013年7月伐採（駐車場出入り口に近いため植え替えはしない）。
AB w 5	46	A	胴巻きによる状況を見守る	・30年未満の桜である。・3、4年前に比べ幹は太くなっている。 ・10年前に比べ凹凸が多くなっている。
AB w 6	45	A		・樹齢60年以上。・不定根で再生中。・樹形は悪いが、樹勢は問題がない。
AB w 7	44	A		・状態は以前よりも良くなっている。・不定根が死んでいるものもある。
BC e 1	3	A		・2015年11月26日移植。・[ジンダイアケボノ]・*胴周囲15cm(H28)
BC e 2	4	A		・[オオシマザクラ]・壮年期の桜。・若干悪い兆候がある。 ・*胴周囲16.0⇒16.1⇒12.2⇒12.8⇒13.4⇒13.7cm
BC e 3	5	***		・2007年ナラタケモドキによって根株腐朽し枯死。
BC e 4	6	A		・とくに問題はない。
BC e 5	7	A		・2015年11月27日植樹を改良。 ・先端部の枝に悪い部分があるが、全体的に大きな問題はない。 ・*胴周囲16.0⇒16.1⇒16.2.5⇒16.5⇒16.6cm
BC e 6	8	A		・不定根が育っている。・とくに問題はない。
BC e 7	9	A		・樹形は悪いが、不定根が土に下りて問題はない。・戦前からの桜の可能性有り。
BC w 1	43	C	電線に当たっている枝を伐採	・一部分コフキサルノコシカケとベッコウダケがある。 ・良い枝が出ており一時の危機は去ったが、回復状況ははっきりしない。 ・Cランクのまま。・*胴周囲18.1⇒19.1⇒19.6⇒20.1⇒20.1cm
BC w 2	42	A	支柱を撤去	・2011年12月15日移植。・*胴周囲21.5⇒25.5⇒34⇒39⇒44cm
BC w 3	41	A		・2016年2月3日移植。・[ジンダイアケボノ]・*胴周囲11cm(H28)
BC w 4	40	A		・2013年8月伐採。・2014年3月14日移植。・健全。・成長が楽しみである。 ・樹種はヤマザクラ系の「シロタエ」。・*胴周囲○⇒○⇒○⇒○⇒18⇒20cm
BC w 5	39	A		・キノコがなくなった。・枝ぶりも良く元気である。・苔が多いのが気がかり。
BC w 6	38	A		・不定根はあるが、良いものは少ない。
BC w 7	51	A		・2005年11月移植。・成長は良好。 ・*胴周囲4.5⇒5.2⇒6.2.5⇒6.8.5⇒7.4cm
CD e 1	10	A		・樹形は悪いが、樹勢は良好。・不定根がよく育っている。
CD e 2	11	A		・樹勢はとくに問題はない。
CD e 3	12	A		・とくに問題はない。
CD e 4	13	A		・コブが出ており、樹勢が弱くなりつつある。
CD e 5	14	A		・2005年11月移植。とくに問題はない。・枝葉がだいぶ増えてきた。 ・*胴周囲3.8.5⇒4.4⇒5.3⇒5.9.5⇒6.5cm
CD e 6	15	B	要観察	・回復途中。・若い割にコブがあり、イメージは悪い。 ・ナラタケが出てなければ良いが。・*胴周囲7.5cm(H28)
CD e 7	16	***		・2013年7月伐採。
CD e 8	17	A		・2005年11月移植。とくに問題はない。 ・幹の途中から下は桜肌が無い（エドヒガンの樹皮のようだ）。 ・*胴周囲3.9⇒4.3⇒5.5⇒5.7.5⇒5.9cm
CD w 1	37	C	開花状況の監視が必要（その後選定して伐採）	・根元にナラタケモドキがあり、腐朽が進んでいる。 ・枝の先端が細く垂れている。・最も危険な桜。
CD w 2	36	A		・ナラタケモドキ等が発生して心配していたが、危機は乗り切ったように見える。
CD w 3	35	***		—
CD w 4	34	A		・内部に若干問題が出はじめている。
CD w 5	33	***		—
CD w 6	32	C	要観察	・新たなベッコウダケがある。・良い枝もあるが、要観察。 ・コブがあるが良性。・根元は露出しているが、元気である。
CD w 7	31	A		・ヒヨダケの出ている枝先は枯れている。幹にはコフキサルノコシカケがある。
CD w 8	30	C	上部の葉が出なければ枝の伐採	・上部の太い枝が枯れており、No.37に次いで危険。
DE e 1	18	A		・樹勢はとくに問題はない。・不定根で幹を守っている。
DE e 2	19	A		・良い根が多く出ている。
DE e 3	20	B		・戦前からの桜（？）。1本の木から分かれて2本になった。中に空洞があるが良好。
DE e 4	21	A		・樹勢はとくに問題はない。
DE e 5	22	A	上部の枯れた枝の伐採	・以前ひこばえが白化した。・No.23の勢いに負けている。
DE w 1	29	A		・2013年3月移植。・*胴周囲○⇒○⇒○⇒17.5⇒19.5cm
DE w 2	28	B	要観察	・全体的にバランスが悪く、幹が道路側に傾く可能性がある。
DE w 3	27	B	要経過観察	・道路側の折れた枝から伸びた新枝は要経過観察。
DE w 4	26	B		・初代に近い頃の桜。・亀裂がある。 ・周辺の建物の影響かもしれないが、傾きが以前より多くなっている。
DE w 5	25	B		・初代並木の数少ない残存木。・空洞があり多少ピンチだが、倒木の危険はない。
DE w 6	24	A		・将来的にNo.25のように空洞は出来るが、全体的に樹勢は良い。
DE w 7	23	A		・西側に亀裂があるが、とくに問題はない。・樹皮からみて20年位の桜か。 ・*胴周囲○⇒10.8⇒11.3⇒11.8⇒12.4cm